

公表情報

【研修機関情報】

法人情報

- 法人格、法人名称・住所等
学校法人 ミウラ学園
〒882-0825
宮崎県延岡市須崎町4-6
TEL：0982-32-3840
FAX：0982-32-3848
- 代表者名、研修事業担当理事・取締役名
理事長・校長 片寄 美佐子

研修機関情報

- 事業所名称・住所等
トライアート・カレッジ
〒882-0825
宮崎県延岡市須崎町4-6
TEL：0982-32-3840
FAX：0982-32-3848
- 理念
『安心と信頼を礎に福祉社会を担う人材を育成する』
- 学則

学 則

(介護職員基礎研修課程)

学校法人 ミウラ学園
トライアート・カレッジ

- 1 開講の目的
介護職員として介護サービスに従事しようとする者を対象とした基礎的な職業教育であり、対人理解や対人援助の基本的な視点と理念、また、専門的な職業人として職務にあたる上での基本姿勢、基礎的な知識・技術等を習得させる。
- 2 研修の名称及び課程
介護職員基礎研修
- 3 実施場所
学校法人 ミウラ学園
トライアート・カレッジ
〒882-0825 宮崎県延岡市須崎町4-6
TEL：0982-32-3840
FAX：0982-32-3848
- 4 研修期間

平成21年10月2日(金)～平成22年 3月 31日(水)までの500時間

5 カリキュラム及び使用する教材

☆カリキュラム

1.基礎理解とその展開	計 360時間
(1) 人間の尊厳と福祉の理念	30時間
(2) 社会福祉制度とサービス	30時間
(3) 医学関連領域の基礎知識	30時間
(4) 認知症の理解	30時間
(5) コミュニケーションと技法と介護技術	90時間
(6) 生活支援の基本視点と家事援助技術	30時間
(7) 医療・看護との連携	30時間
(8) 介護における社会福祉援助技術	30時間
(9) ケアマネジメント技術と生活支援	30時間
(10) 介護職員の倫理と職務	30時間
2.実習	計 140時間
(1) 事前演習	8時間
(2) 実習	124時間
①施設・居住型実習	80時間
②通所・小規模多機能型実習	} 40時間
③訪問介護実習	
④地域の社会資源実習	4時間
(3) 事後演習	8時間

☆教材

(財団法人 長寿社会開発センター

介護職員基礎研修テキスト 全12巻)

6 実習施設

☆実習施設一覧表

施設・居住型実習	特別養護老人ホーム 水明荘、特別養護老人ホーム きたがわ荘 特別養護老人ホーム 敬寿園、介護老人保健施設 昭和苑 有限会社潔和会よしむら苑、特別養護老人ホーム みのり園 介護老人保健施設 マイ・グリーンヒル
通所・小規模多機能型実習	デイサービスセンターかぼちやの家、 きたがわ荘指定通所介護事業所、みのり園指定通所介護事業所 特別養護老人ホーム 水明荘、 ささゆりデイサービス
訪問介護実習	延岡市社会福祉協議会指定訪問介護事業所、有限会社はーと介護 みやはら介護保険企画、平和介護サービス 訪問介護センター なないろ会、ケアセンターささゆり 特別養護老人ホーム 水明荘
地域社会資源実習	社会福祉法人 延岡市社会福祉協議会 延岡市北老人福祉センター

7 研修修了の認定方法

実施要項に基づく研修の全過程を修了し、修了評価各々70点以上の取得者に『修了証明書』を交付するものとする。受講者が、やむを得ない理由により、研修の一部を受講しなかった場合、後1年の期間内に同一又は他の実施主体が

行う研修の一部をした場合においては、当該受講内容を確認の上、確認された内容に相当する研修科目および研修時間の全部又は一部を受講したものとみなす事ができる。

評価は、原則として、当該科目の担当講師が行うこととする。

認定基準は、理解の高い順に A・B・C・D の 4 区分で評価し、C 以上の受講者が評価基準を満たしたのものとして認定する。

認定基準（100点を満点評価とする）

A=90 点以上、 B=80～89 点以上、 C=70～79 点以上、 D=70 点未満

8 受講資格

ハローワークより職業訓練を許可されたものに限る

9 受講定員

20名

10 受講申込手続

公共職業安定所にて申込

11 授業料、実習費など受講者が負担すべき費用

1. 受講料・・・・・・・・・・委託訓練のため無料

2. 腸内細菌検査料・教材等・・・・・・・・自己負担（実費）

12 研修欠席者に対する補講の方法及び補講にかかる費用等の取扱い

受講者がやむを得ない理由により、研修の一部を受講しなかった場合、学則7に規定する期間内に、同一の実施主体において補講を実施する。

また、補講に別途費用がかかる場合は受講者負担とする。（1時間¥2,500とする）

●研修施設、設備

ベット・テーブル・移動補助具・車椅子・杖・歩行器・白杖・アイマスク・たらい・バケツ・寝巻き・パジャマ・湯桶・人体モデル・食事補助具・吸飲み・食器・便器・尿器・ポータブル便器・口腔模型・口腔ケア用具・シーツ・枕・タオル等
食材・調理器具・食器・掃除用具、吸引器・吸入器・血圧計・体温計

【研修事業情報】

研修の概要

●対象

ハローワークより受講指示のあった者

●研修のスケジュール（期間、日程、時間数）

500時間

●定員（講義、実習）と指導者数

○ 定員20名

○ 講義 指導者

4名

○ 実習 指導者

各施設に1名以上

●研修受講までの流れ（募集、申し込み）

ハローワークに応募後選考（適性テスト・面接）

●費用

- 無料 テキスト代は自己負担（実費）
- 留意事項、特徴、受講者へのメッセージ等
研修後、介護業務に3ヶ月以内に就職することを目指す。

課程責任者

- 課程編成責任者名
片寄 美佐子
- 課程編成責任者名の略歴、資格
(略歴)
昭和43年 9月 東京文化服装学院 技術科 卒業
(資格)
昭和47年 4月 職業訓練指導員
平成16年 8月 キャリア・コンサルタント

研修カリキュラム

- 科目別シラバス（要旨）
科目別特徴に準ずる（別紙添付）
- 科目別担当教官名
 - (1) 人間の尊厳と福祉の理念
木原 万里子
 - (2) 社会福祉制度とサービス
木原 万里子
 - (3) 医学関連領域の基礎知識
谷山 静枝
 - (4) 認知症の理解
谷山 静枝
 - (5) コミュニケーションと技法と介護技術
稲田 いつ子
 - (6) 生活支援の基本視点と家事援助技術
稲田 いつ子、黒木 直子
 - (7) 医療・看護との連携
谷山 静枝
 - (8) 介護における社会福祉援助技術
木原 万里子
 - (9) ケアマネジメント技術と生活支援
木原 万里子、稲田 いつ子
 - (10) 介護職員の倫理と職務
谷山 静枝、稲田 いつ子
 - (11) 実習事前・事後演習
谷山 静枝
- 科目別特徴
 - 1 人間の尊厳と福祉の理念
 - ・人間観や人間像の理解に基づいた尊厳を支える介護・福祉について理解する
 - ・介護・福祉サービスを提供するにあたっての基本的視点の形成を促す
 - 2 社会福祉制度とサービス
 - ・介護保険法、障害者自立支援法を中心とした高齢者・障害者の医療・保健・福祉制度及びサービスについて理解する（「制度観」を醸成する）

- ・各サービスの役割と業務について理解し、利用者の立場に沿ってサービスの利用の流れを理解する
 - ・各地域の制度・サービスの現状・特徴について理解する
 - ・各制度と介護職との関係を理解する
- 3 医学関連領域の基礎知識
- ・加齢・老化に伴う変化及び各障害、主要疾病の概要について理解する
 - ・介護場面で直面する頻度の高い症状、疾病、障害を医学的に理解する
- 4 認知症の理解
- ・認知症の病理や症状、治療について学ぶ
 - ・認知症の利用支援の視点
 - ・介護の原則について学ぶ
 - ・認知症の利用者への援助方法を学ぶ
 - ・認知症の利用者の家族の立場を理解する
 - ・認知症を支える専門職の役割を学ぶ
- 5 コミュニケーションの技法と介護技術
- ・介護の考え方、視点を理解する
 - ・利用者とのコミュニケーション、心のケアのための基礎的態度、技術を習得する
 - ・利用者を尊重し、個々人の尊厳を支えるケアの実際を学ぶ
 - ・利用者の自立支援・地域支援の観点から、心身機能の低下プロセスにそって、介護の意味と基礎的な介護技術を習得する
 - ・介護予防の考え方と方法を理解する
 - ・福祉用具、住宅改修の意義と正しい活用法について理解する
- 6 生活支援の基本視点と家事援助技術
- ・生活全体を支援する視点に基づき、生活環境の整備と家事援助技術を学ぶ
 - ・家事援助と介護予防、自立支援の関わりについて理解する
- 7 医療・看護との連携
- ・医療・看護との連携の必要性を理解する
 - ・介護職員がふれる機会の多い医療機器や薬、リハビリテーション医療等に関する基礎知識を習得する
 - ・医療ニーズを持つ利用者に対して、医療・看護との連携の下で行う介護技術を習得する
 - ・ターミナルケアにおける介護の役割を理解する
- 8 介護における社会福祉援助技術
- ・介護において求められるソーシャルワークについて、理念を理解し実践的援助技術を習得する
 - ・地域を含めた生活環境づくりの視点と方法を理解する
 - ・困難事例等への対応において、チームケアの一員として、どのような役割を果たすべきかを考え、連携の具体的方法を学ぶ
 - ・利用者家族とのコミュニケーション技術、家族支援の具体的方法を学ぶ
- 9 ケアマネジメント技術と生活支援
- ・「ケアプラン」のアセスメント、作成方法を学び生活全体をプランする「生活プラン」について学ぶ
 - ・アセスメントからケアプラン作成の流れと居宅サービス計画(在宅の場合個別サービス計画(訪問介護計画等))との関係を理解する
 - ・ケアプランに基づいたサービスの流れと、事業所と職種間の連携について理解する
- 10 介護職員の倫理と職務
- ・職業人としての倫理の重要性、自己管理の重要性を理解する
 - ・事業別の職務内容、介護職の倫理や職務について理解する
- 11 実習事前・事後演習
- ・実習を円滑に実施するため、実習の目標、スケジュール、留意点についてオリエンテー

ションを行い、実習の課題を認識する

- ・演習等により、基本的な介護技術の習得の有無を確認するとともに、事故防止の留意点を理解する
- ・実習記録の書き方を理解する
- ・個々人の実習の経験・気づき、自己の介護観等をまとめるとともに、個々人の経験を比較・相対化し、学びの共有化、意味付けを行う
- ・介護の現場における理想と現実の違いについて理解・認識を深める
- ・実習は介護の現場を体験的に理解する場であり、その経験が全てではないことを理解する
- ・介護行為の根拠となっている知識や基本的な介護技術を再確認する

●科目別通信・事前・事後学習とする内容及び時間

無し

●通信課程の教材・指導体制・指導方法・課題

無し

●修了評価の方法、評価者、再履修等の基準

講義・演習

修了評価は、筆記試験、口頭試験、実技試験、レポート等により行います。

評価のチェックポイントに示す知識・技術の習得が十分でない場合には、基準に達するまで再評価を行います。また、必要に応じて補講等を行います。

各項目において70点以上を習得し、全過程を受講すること。

実習

実習の修了評価は、別に定められた経験目標について、実習記録に基づき経験目標を経験したかどうかを確認します。

実施施設

●協力実習機関の名称・住所、事業所の概要、実習担当者等

実習施設名	住 所	事業所の概要	実習担当者
延岡市社会福祉協議会	882-0842 延岡市三ツ瀬町1丁目12-4	http://www.wainet.ne.jp/nobesha/	(福祉サービス課) 黒木 智子
特別養護老人ホーム きたがわ荘	889-0102 延岡市北川町長井5565番地8	特別養護老人ホーム 短期入所生活介護	(施設長) 柳田 正幸
きたがわ荘 指定通所介護事業所	889-0102 延岡市北川町長井5565番地8	通所介護	
特別養護老人ホーム 水明荘	889-0516 延岡市鯛名町908番地1	特別養護老人ホーム 通所介護、訪問介護 短期入所生活介護	(介護福祉士) 岩切 博子
特別養護老人ホーム みのり園	882-0075 延岡市岡元町630番地1	特別養護老人ホーム 短期入所生活介護	(社会福祉士) 伊東 美千代
みのり園 指定通所介護事業所	882-0075 延岡市岡元町630番地1	通所介護	
特別養護老人ホーム 敬寿園	882-0034 延岡市昭和町3丁目9番地3	特別養護老人ホーム 短期入所生活介護	(介護福祉士) 矢野 佳子
介護老人保健施設 昭和苑	882-0867 延岡市構口町2丁目123	介護老人保健施設 通所リハビリテーション 短期入所療養介護	(事務長) 黒木 武士

介護老人保健施設 マイ・グリーンヒル	882-0863 延岡市緑ヶ丘5丁目2番22号	介護老人保健施設 通所リハビリテーション 短期入所療養介護	(事務長) 新名 保
有限会社潔和会 よしむら苑	882-0031 延岡市中川原町2丁目3番2	有料老人ホーム	(事務長) 近見 賢治
デイサービスセンター かぼちゃの家	882-0021 延岡市無鹿町2丁目3281	通所介護	(管理者) 浜田 真由美
ささゆりデイサービス	882-0863 延岡市緑ヶ丘4丁目19番6号	通所介護	(社会福祉主事) 後藤 美智代
ケアセンター ささゆり	882-0863 延岡市緑ヶ丘4丁目19番6号	訪問介護	(社会福祉主事) 後藤 美智代
訪問介護センター なないろ会	882-0063 延岡市古川町74番地1	訪問介護	(介護福祉士) 黒瀬 令子
みやはら介護保険企画	882-0042 延岡市高千穂通4番地12	訪問介護	田中 葉子
有限会社は一と介護	882-0063 延岡市古川町50番地5	訪問介護	(代表者) 桑原 町子
平和介護サービス	882-0847 延岡市旭町1丁目5-3	訪問介護	(代表者) 中村 弘之
延岡市北老人 福祉センター	882-0055 延岡市山下町1丁目7-9	老人の福祉向上に関 する事業	(代表者) 児玉 悦生

●実習プログラム内容、プログラムの特色

- ・利用者の個別性や人間関係を理解するための着眼点を理解する
- ・介護目標を踏まえて、自立に向けた介護の考え方やプロセスについての理解を深める
- ・通所系サービスの機能・内容、及び他の居宅サービスとの連携を理解する
- ・利用者の個別性や人間関係を理解するための着眼点を理解する
- ・介護目標を踏まえて、自立に向けた介護の考え方やプロセスを理解する
- ・訪問介護サービスの機能・内容、及び居宅サービス、関係機関との連携や、社会資源の活用状況を理解する
- ・関係機関との連携や、社会資源の活用状況について理解する
- ・利用者を取り巻く家族関係を理解し、配慮することの重要性を理解する
- ・在宅の生活、利用者の日常生活の多様性、及び介護の工夫の現状と自立に向けた支援の考え方について理解する
- ・地域全体の社会資源、サポートシステムについて知識を得る
- ・地域との関わりについて理解する
- ・身近な社会資源のあり方の考察

●実習中の指導体制・内容（振り返り、実習指導等）

主指導者のもとで、研修者に1人以上の指導者を配置。

●協力実習機関における延べ実習数

140時間×20人 2800時間

【講師情報】

●名前

木原 万里子（社会福祉士）

稲田 いつ子（介護福祉士・主任介護支援専門員）

谷山 静枝（看護師）

黒木 直子 (管理栄養士)

●略歴、現職、資格

木原 万里子

(略歴)

昭和35年 3月 福岡県立門司南高等学校 卒業

(資格)

昭和56年 3月 社会福祉主事

平成6年 6月 社会福祉士

平成13年 3月 介護支援専門員

平成14年 2月 福祉用具プランナー

稲田 いつ子

(略歴)

昭和41年 3月 宮崎県立 富島高等学校 卒業

(資格)

平成13年 3月 介護福祉士

平成16年 3月 介護支援専門員

谷山 静枝

(略歴)

昭和55年 3月 延岡市医師会延岡高等看護学校 卒業

(資格)

昭和55年 5月 看護師

昭和56年 10月 衛生管理者

黒木 直子

(略歴)

昭和40年 3月 聖徳栄養短期大学 卒業

(資格)

昭和55年 12月 管理栄養士

【実績情報】

●過去の研修実施回数 (年度ごと)

初回につき実績なし

●過去の研修延べ参加人数 (年度ごと)

初回につき実績なし

【連絡先等】

●申し込み・資料請求先

トライアート・カレッジ

〒882-0825

宮崎県延岡市須崎町4-6

TEL: 0982-32-3840

FAX: 0982-32-3848

●法人の苦情対応者名・役職・連絡先

片寄 美佐子・理事長

学校法人 ミウラ学園

〒882-0825

宮崎県延岡市須崎町4-6
TEL: 0982-32-3840
FAX: 0982-32-3848

●事業所の苦情対応者名・役職・連絡先

片寄 美佐子・学校長 トライアート・カレッジ
〒882-0825
宮崎県延岡市須崎町4-6
TEL: 0982-32-3840
FAX: 0982-32-3848